
白粉塗りの蝶

たかぴょん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白粉塗りの蝶

【Nコード】

N0091H

【作者名】

たかぴょん

【あらすじ】

谷崎潤一郎氏の作品から発想をしのばせたぜひとも評価お願い致します。悪評でも臨むところでございます

白粉塗りの蝶？スーパー

高木和久

クロロホルムは女の細き鼻柱をつきぬけるばかり……

幽閉の姫君が漏らす微かなあえぎ

何万本の細き髪は地獄の底よりもなお黒く

女は上顎でガーゼを噛み

男の指先から血を吸い取らんばかりに

生臭き息は、生物的生存を浮き出した

六畳間に敷かれる白布では肉体が転がっていた

漆のへさを一本の指のように掴み

手首の静脈流を合図に

黄金丘の首からの眺めに

その針をあてがう

三十六 八分の背面は生暖かく

抹殺されていない感染菌が、その針に染み着いていた

血がたぎるときにしか浮き出ない刺青

白粉塗りの蝶

彫り師は西陽で輝く女体へ

希有な霊蝶を彫る

女体は天上界を浮遊していた

眉間は一寸たりとも動かない

幼い頃からの彼女の赤貧が洗い流されて行く

二十数年分の魂が墨となり、永遠に染まり

西陽が埃を飲むことを止めたとき、蝶は空を舞った

紅の空と、混じる血で描かれた紺、青、黒。

淡い三色のアゲハチヨウが恥じらいがちな空へ舞った

待ち焦がれた希望

羽がまどろみに反射した

赤貧が魂となり

……一匹の蝶は紅へ消えていった

了

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0091h/>

白粉塗りの蝶

2011年1月16日08時20分発行